

岐阜米穀(株) メールマガジン

今回のテーマは

「耕作放棄地の中でも荒廃農地の話題」

荒廃農地が、全耕地面積の6%に当たる28.1万ha(20年時点)もあることは驚きですね。耕作面積が茨城や新潟でそれぞれ17万ha程度。かなりの面積であります。石も磨けば玉になるような事例ですが、裏を消せば、もともと玉なのにも思います。

それら事例として、日本農業新聞に取り上げられた事例も合わせて整理しておきました。

- ▽宮城県東松島市、太陽光で水耕メロン 異業種が荒廃農地再生
- ▽千葉県睦沢市、オリーブの木1000本育つ 道の駅で加工・販売
- ▽愛知県江南市、「農福連携」でさつまいも 加工事業にも参入
- ▽岡山県瀬戸内市、トマト栽培21年度に黒字化 障害者約20人雇用
- ▽北海道雄武町、寒冷地で育つそば畑に転換 そば焼酎など特産品に
- ▽福井県あわら市、ドローンで土壌測定 稲作の作業負担減らす
- ▽長崎県雲仙市、放棄地再生に独自の補助 収入アップに効果
- ▽和歌山県田辺市、害獣駆除で農地荒廃防ぐ ウメ畑など再生
- ▽荒廃農地をソバ畑に 沖縄の気候生かし、新たな特産品
- ▽東海4県の荒廃農地、東京ドーム1020個分復活 静岡は整備費、県・市町が一部負担
- ▽山梨 ワイン用ブドウ実る 荒廃農地、県が所有者・企業仲介「国産」人気で栽培に弾み
- ▽北海道、荒廃農地の再生21位 雄武町はそばの一大産地に
- ▽荒廃農地再生 茨城・城里町、茶や化粧品用ハトムギで
- ▽荒廃農地 長野、機械化・ITで再生
- ▽農地の再興、害獣駆除から 和歌山・田辺で狩猟チーム
- ▽荒廃農地を復活 香川オリーブ、ブランド化 生産効率化へ組合 地元企業や金融も後押し
- ▽ミカン園 研修生受け入れ 荒廃農地、県が借り上げ整備 キウイ・レモンへ転作も
- ▽レンゲ、菜種、ソバ・・・ミツバチと見物客呼ぶ花畑 遊休農地 蜜源作物で再生、景観づくりも(南日本新聞)

“スーパーフード”・青パパイヤに注目 遊休農地の活用にも一役(日本農業新聞)

和歌山県の JA わかやまの子会社「JA ファームわかやま」は本年度から、青パパイヤの施設栽培を始めたと日本農業新聞。

JA 管内では初の試み。初収穫で大きさ約 15 センチ、重さ約 1 キロの立派な果実が取れた。地域の農家にも普及して所得向上を後押しし、遊休農地の活用にもつなげたい考えだ。同社では 2010 年に県内初の JA 出資型法人として誕生。高齢農家から農地を引き受け、野菜の生産や農作業受託などを手掛けるなど、地域の農地を守ってきた。健康食材として人気、栽培も手間がかからず。

青パパイヤは熟す前に収穫した果実で、サラダなどに使われる。農水省によるとパパイヤの出荷量は全国で 139 トン（2019 年）。近年、ダイエット効果があるとされる酵素を多く含む健康食材として注目される。「スーパーフードランキング」（日本スーパーフード協会）の 1 位に選ばれ、各地で産地化が進む。完熟前に収穫するため鳥獣害が少ない。耐病性があり成長も早く、無農薬で手間がかからず栽培できるメリットもある。

全国各地で販売され始めていて、未熟の青パパイヤ・ヤングパパイヤとも呼ばれています。

~~~~~  
展示会 出展のご案内です。

PROTEIN JAPAN 2023（プロテイン ジャパン）に出展します  
（同時開催：welfare tokyo 2023）

2023 年 11 月 28 日（火）～30 日（木） 10:00～17:00  
東京ビッグサイト 南展示棟 3・4 ホール  
ブース No：S3-3-17

プラントベースの Pea プロテイン エンドウミートの使い方やメニューのご紹介です。

どうぞお時間ございましたら、お越しくださいますようお願い申し上げます。